

経験を活かして的確な情報共有のまちづくり

つながるまちづくり

- 新型コロナウイルスによるフレイルなど生活機能維持、介護予防と健康寿命
- 連携した支援体制（障害・高齢・子ども・困窮）
- 情報機器利用での視力などへの健康配慮や検診
- 防災・減災、在宅避難や災害時の精神面のケア
- 地域のつながりによる減災・知識と
- 和光市BOSAIまちづくり伝道師の養成



しなやかさと和光をささえるまちづくり

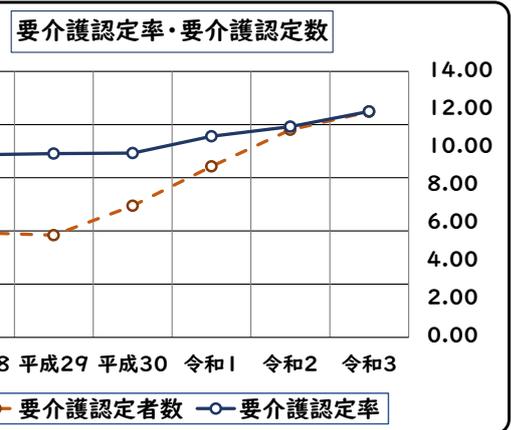
- 道路整備・地域の移動手段の確保
- 企業誘致による安定財源の確保
- 地域雇用を創出・身近な買い物拠点の産業・商業の振興
- 開発に合わせた北側地域への消防分署の整備
- 自然を生かし、手入れをしたまちづくり
- 和光市版スーパーシティ構想（交通・インフラ・防災や減災）に備えたまちづくり

主な取組について

- ◇医療的ケア児・家族への支援、在宅保育体制の整備（令和4年）
- ◇学校図書の本整備や読書への取組み（令和4年）
- ◇LD・ディスレキシアへの取組み（平成8年、平成11年、平成18年）
- ◇横断歩道への点字ブロック設置（平成20年、平成28年、平成31年3月）
- ◇介護職へのハラスメント防止・条例の制定検討（平成30年、令和5年）
- ◇認知症の徘徊などでの身元証明書携行や民間保険を利用した賠償保険の検討（平成）
- ◇災害時での被災者、対応職員、ボランティアの心のケア（令和1年、令和3年）
- ◇IT教育について（平成12年）

一般会計予算 315 億 400 万円というけれど・・・

左のグラフは、令和5年度の和光市一般会計収入のグラフです。総額315億円ですが、国・県支出金や市債は、支出先が決められています。◆福祉など国、県、市の負担割合が決められている事業に一般財源からも充てます。市の裁量で使える一般財源ですが、他に、義務的な人件費や公債費を考慮して支出を考えていく必要があります。◆税収ですが、国の施策の影響を受ける場合があります。◆社会経済情勢を見ていくことも大切です。◆政策提言でも、後年度も支出していく政策については、財源の見通しも持つておくことが大切だと考えます。◆議員として、政策提言とともに、行財政運営のチェックに努めていきます。



令和5年度は、長寿あんしんプランの見直しです。健康寿命の維持に向けた取組が大切です。（和光市の「事務事業評価」より作成）

学びの楽しさを実感できる

- 国際的な視野と技術の育成、ICTやIT・外国語
- “ギフテッド”だれもが与えられた個性を生かす
- 学び・学びなおしの機会の提供・まなびの意欲と交流の醸成
- 学びに向けた入学準備金制度
- 公民館を活かした地域のまなび・つどい
- アメリカ・ワシントン州ロングビュー市との交流

透明性・将来性の市政運営

- リスクマネジメント、情報セキュリティ
- ICT・AIに対応した公文書管理、情報公開
- 専門性を培う職員研修体制と事務の効率化
- 和光市情報発信ツールの充実、オープンデータの活用と参加型アプリでの創作
- 安定、安心の上水道供給
- 公共施設の適正管理・長寿命化

